



自衛隊栃木地方協力本部

宮っ子チャレンジウィーク（職業体験）支援 ～宇都宮市内中学校3校合同、3日間連続自衛隊体験！～



27日（北宇都宮）装備品展示の様子



やっぱり楽しみはご飯。この日は、お誕生日献立でケーキもついてほとんどみんな完食してました。（体験喫食）

宇都宮募集案内所は、「今後も、宮っ子チャレンジウィーク支援を通じ、学校との連携及び信頼関係を強化していくとともに自衛隊をPRし募集広報活動を推進していく」としている。

最終日には栃木地本本部で手旗信号を体験し、「出来るかなあ?」「難しそう」と不安な顔をしている生徒もいたが、担当した広報官は「やってみたらみんなノリノリでした。さすが中学生、覚えが早かったです。思い出に残ってくれば嬉しいです」と3日間の中学校マイ・チャレンジの感想を述べていた。

学生たちは初めて入る駐屯地に最初はドキドキして硬い表情も見られたが、装備品等を前にするときとみんな興奮した様子で「値段はいくらですか?」「タイヤの大きさは?」などたくさん質問が飛び交っていた。また、基本教練体験時は隊員のきびきびとした動作に緊張した様子であったが、わかりやすく丁寧な説明を受け緊張も和らいでいる様子であった。体験後「本物の自衛官みたいに格好良い敬礼が出来るようになったので良かったです」と感想を述べていた。31/2tトラックの体験試乗では、安全管理に気を付けてガタガタ揺れるトラックで駐屯地を周り、初めて乗る自衛隊車両に今回の「宮チャレ」最高潮のハイテンションで楽しそうにはしゃいでいたのが印象的であった。

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、6月27日（火）北宇都宮駐屯地、28日（水）宇都宮駐屯地、29日（木）栃木地本本部において宇都宮市立陽東中学校、一条中学校、上河内中学校の3校合同、計13名の宮っ子チャレンジウィーク支援を行った。宮っ子チャレンジウィークとは、宇都宮市内の中学校2学年の生徒に地域の人々との関わりを主とした社会体験活動を体験してもらう「総合的な学習の時間」の一環で行われている授業の一つである。



28日（宇都宮）

31/2tトラック体験試乗の様子



27日（宇都宮）基本教練体験の様子



29日（栃木地本本部）ブリーフィングの様子



29日（栃木地本本部）

手旗体験の様子